

平成28年度 渋川北群馬中学校総合体育大会 柔道大会要項

1. 主催 渋川北群馬中学校体育連盟
渋川市教育委員会 榛東村教育委員会 吉岡町教育委員会
2. 日時 団体戦 平成28年 7月 16日(土) 8:00 開場・会場準備・計量
個人戦 7月 17日(日) 9:10 審判及び監督会議
9:25 開会式
9:40 試合開始
3. 会場 渋川市武道館(0279-24-7878)
4. 審判規定 国際柔道連盟試合審判規定(2014施行の新ルール)および国内における「少年大会特別規定」による。団体戦の判定基準は「有効」又は「指導2以上の差」以上とする。団体戦の代表戦及び個人戦の場合の判定基準は、「有効」又は「指導1以上の差」とし、同点の場合は必ず勝敗を決する。決勝のみGS(無制限)を行う。なお、代表戦は任意に選出することとする。
5. 選手 ○団体戦
 - ・男子団体戦は各学校単位編成で、監督1名、選手5名、補員2名とする。
 - ・女子団体戦は各学校単位編成で、監督1名、選手3名、補員1名とする。
 - ・選手の編成は体重の最も重い者を主将とし、以下順次体重順に編成する。選手が男子5名、女子3名に満たない場合も同様に編成し間に欠員をおいてはならない。また、補員を入れるときは順次編成替えをする。補員の充当により抜けた選手は以後の団体戦に再び出場できない。○個人戦は、各体重別とする。
 - ・男子個人
 - 50kg級(50kg以下)
 - 55kg級(50kg超～55kg以下)
 - 60kg級(55kg超～60kg以下)
 - 66kg級(60kg超～66kg以下)
 - 73kg級(66kg超～73kg以下)
 - 81kg級(73kg超～81kg以下)
 - 90kg級(81kg超～90kg以下)
 - 90kg超級(90kg超)
 - ・女子個人
 - 40kg級(40kg以下)
 - 44kg級(40kg超～44kg以下)
 - 48kg級(44kg超～48kg以下)
 - 52kg級(48kg超～52kg以下)
 - 57kg級(52kg超～57kg以下)
 - 63kg級(57kg超～63kg以下)
 - 70kg級(63kg超～70kg以下)
 - 70kg超級(70kg超)
6. 試合時間 3分
7. 試合方法○団体戦 予選参加チームが6チームを超える場合は、2組の予選リーグ戦を行い、各組上位チームによるトーナメント戦により順位を決定する。予選参加チームが5チーム以下の場合は、リーグ戦を行い順位を決定する。

ただし、男女ともに県大会出場権を持つチームがある場合はシードとし、他チームより代表校を決定し、出場権を持つ学校と決勝戦を行う。

 - ・リーグ戦の勝ちチームは、次の順によって決定する。
 - ア：チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
 - イ：アにおいて同率の場合は、勝ちの内容による。
 - ウ：ウにおいて同等の場合は、負け数とその内容により決定する。
 - エ：エにおいて同等の場合は、代表戦により決定する。

・トーナメント戦の勝ちチームは、次の順によって決定する。

ア：チーム間の勝ち点の合計による。

イ：アにおいて同等の場合は、内容により決定する。

ウ：イにおいて同等の場合は、代表戦により決定する。

○個人戦 各階級でトーナメント試合を行う。ただし、予選登録選手が3人の場合はリーグ戦とする。また、県大会出場権を持つ者はシードとし、他の者より代表者を決定し、出場権を持つ者と決勝戦を行う。

8. 表彰 渋川北群馬中学校体育連盟諸規定、第8条、第9条により表彰する。
男女団体戦は、3位までの上位チーム、個人戦は、階級別に3位までの上位者とする。

9. 代表資格 ○男子団体戦は上位1校、女子団体戦は榛東中学校と上位2校の計3校が代表資格を持ち、県大会に進出する。個人戦優勝者が代表資格を持ち、県大会に進出するが、各階級男子は16名、女子は8名につき代表資格を1人増加する。
○上記個人が県春季大会の結果により県総合体育大会出場権を持っている場合は、次点を決定し代表資格を与える。
○中学生らしい服装や態度で試合にのぞむこと。
(禁止事項第35条 柔道精神に反するようなこと)
○選手・監督・コーチはもちろんのこと、応援者においても、大会運営の妨げになるような言動は慎む。
○やむを得ない理由で大会前に選手が出場出来なくなった場合の選手変更は、選手変更願を提出する。

10. その他

- ・団体戦の計量は1回とする。個人戦の計量は、開会式前までとする。
- ・脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。
 - ①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医〔脳神経外科〕の精査を受けること。)
 - ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

大会役員

大会会長	関 聡
競技委員長	疋田 克彦
副競技委員長	小實 研介 小畑 弥富
審判長	群馬県柔道連盟北群馬渋川支部
審判	渋川北群馬中体連 渋川北群馬柔道連盟
計量・検査	小畑 弥富 梶澤 文美 新井 真生
会場・進行	森瀬 伸二 岡田 英樹 松岡 大樹 梶澤 文美 吉田 直子 佐藤 裕一 佐藤 久江 橋詰 倫典
記録・賞状	唐澤 忍 阿部 明子 鳶島 哲夫
受付	関口真由美 藤田 暁子 阿久津 彩
救護	狩野 真理子（16日） 高山 妙子（17日）
計時	渋川北群馬中学校柔道部員